

Chapter 02

環境をとりまく社会の動き

世界・国の歩み

2015年9月
SDGs(持続可能な開発目標)

世界共通の目標として、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指す。

2015年12月
パリ協定

平均気温の上昇を1.5℃以内に抑えるため、世界が協力して気候変動対策を進める国際的枠組み。

2015

神戸市の歩み

2019年10月
食品ロスの削減の推進に関する法律

食べられる食品の廃棄を減らすため、社会的に取り組む。



出典：農林水産省「NO-FOODLOSS PROJECT」

2019-2020

2020年12月
2050年
カーボンニュートラル宣言

地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量削減に向けて、神戸市では2050年「カーボンニュートラル」の実現を目指すことを宣言。

2021年6月
プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

プラスチックの製造から廃棄まで、資源循環をライフサイクル全体で推進。

2021-2022

2021年11月
資源回収ステーション
初開設

質の高いリサイクルと地域交流の拠点として、ふたば学舎に初開設。以降、全市に展開。



2023年3月
生物多様性国家戦略
2023-2030

生物多様性と自然資本を守り活かすための国家戦略。国際枠組みに基づく戦略。

2022年8月
外来生物展示センター
オープン

外来生物問題の普及啓発に特化した、日本で唯一の公的施設。2025年8月には新たに「昆虫室」をオープン。



2022年12月
「てまえどり」が
新語・流行語大賞
TOP10に選出

食品ロスを減らすために棚の手前にある商品を選ぶ「てまえどり」は、神戸が発祥。全国に取り組みが広がる。



2023-2024

2024年8月
OECDへの登録

30by30に向けた取り組みとして、北区山田町の一部区域が生物多様性保全に資する地域である「OECD」作为国内で初めて登録。



2024年9月
脱炭素先行地域への選定

ポートアイランド「医療産業都市エリア」・「港湾エリア」が、国の脱炭素先行地域(2030年度までに先進的に脱炭素に取り組む地域)として選定。

2024年5月
第六次環境基本計画の策定

経済社会システムを脱炭素・循環型・自然再興な状態に転換し、「循環共生型社会」を目指す。

2024年8月
第五次循環型社会形成推進基本計画の策定

大量生産・消費・廃棄の経済から、資源を効率的に活用し持続可能な経済へ転換。

2025年3月
芦屋市と広域連携締結

可燃ごみ処理に関する広域連携に向けた協議書を締結。広域的なごみ処理による、圏域内の脱炭素・環境負荷低減を目指す。

2025